

## 日銀のマイナス金利政策と銀行の収益性

北坂真一（同志社大学）

陳菲（元同志社大学大学院生）

佐竹光彦（同志社大学）

### 要約

本研究では、日銀のマイナス金利政策が銀行の収益に与える影響について、論点整理を行うとともに、銀行の財務データに基づいて実証分析を行った。分析の対象は2009年3月期から2020年3月期までの銀行122行で、動学的パネルモデルをシステムGMMで推定した。

実証分析の結果は、以下の通りである。

- （1）日銀の低金利・マイナス金利政策は、銀行のROAや経常利益に悪影響を与える。ただし、マイナス金利政策下でその影響度は低下している。
- （2）銀行の資金利益に対して、金利水準は影響しないが長短金利差が影響する。
- （3）銀行の手数料利益（役務取引等利益）や債券売買等の利益（その他業務利益）も低金利・マイナス金利と長短金利差縮小で悪影響を受ける。
- （4）低金利・マイナス金利が、地銀・第二地銀のROAに特に強い悪影響を与えることは確認されない。ただし、地銀・第二地銀の資金利益が長短金利差縮小の影響を強く受けることは確認された。

### キーワード

マイナス金利, 銀行収益, システムGMM